

日本ジオパークでは4年に一度、地質遺産の保全や活用状況、前回審査時からの活動の進展について審査を受けます。当ジオパークは、2年前の再認定審査では活動が不十分として「条件付き再認定」となっていました。

18日午後、日本ジオパーク委員会の中田節也委員長から審査



再認定を喜ぶジオパーク関係者

1月18日(木)に日本ジオパーク委員会が開催され、八峰白神ジオパークは「再認定」となりました。審査では、ジオサイトの見直しや拠点施設であるぶなっころランドの整備などが評価されました。

祝！  
再認定  
八峰白神ジオパーク



昨年の現地審査でニツ森を視察する審査員

結果が辻正英推進協議会会長に伝えられました。辻会長は「活動が評価されて正直ほっとした。協議会みんなでがんばった成果だ。」と語りました。2回連続で「条件付き再認定」となれば日本ジオパークの認定が取り消されるため、吉報を受けた関係者一同は喜びを分かち合いました。また、審査結果では「ブナ林と地すべりを関連付けたジオツアーも軌道に乗りつつある」と今後の展開に期待する部分もありました。再認定審査は、普段の活動を点検し、全国に44あるジオパークの質を高めていくための仕組みです。今後も審査で評価された部分は発展させ、課題に対しては解消させるよう活動していきます。

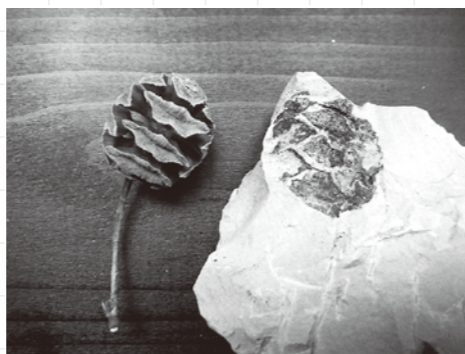
ぶなっころランド「森林科学館」では、秋田県内や八峰町で産出する植物化石を展示・解説しています。今回は展示している植物化石の一つを紹介します。

下の写真はメタセコイアの球果の化石で、八峰町の約1600万年前の地層から産出しました。メタセコイアはスギ科の落葉高木で、別名アケボノスギとも呼びます。1600万年前には日本を含む北半球に広く分布していました。その後、現在では絶滅した植物だと考えられています。1946年に中国の四川省で現生種として発見され、注目を集めました。そのため、メタセコイアは「生きた化石」とも呼ばれます。

この時代の地層からはメタセコイアの他にケヤキやコナラ、ヤマモモ等の化石が産出します。この化石のグループは、男鹿半島の台島周辺で産出した化石を中心に研究が進められたので、「台島型化石群」と呼びます。

秋田県の石に選定されている「ナウマンヤマモモ」もこのグループ

「生きた化石」メタセコイア



メタセコイアの球果化石(右)と現生種(左)

ぶに含まれます。この台島型化石群が堆積した当時の環境は温暖で、海岸近くの低地のものと考えられています。

メタセコイアは生育が早く樹高は25mほどにもなります。また、樹形が美しいことから現在では日本でも並木道や公園に広く植栽されています。ぶなっころランドにも植栽されており、植栽されている現生種と展示している化石を見比べることが出来ます。ぜひぶなっころランドへご来場ください。

八峰白神ジオパーク推進協議会  
地域おこし協力隊 三輪 拓磨  
TEL 018-2632  
秋田県山本郡八峰町八森字三十釜一四四一  
ぶなっころランド内  
TEL 0185-7713086

# 八峰町奨学金制度



町では町内に居住する方の子弟で、優良な学生であり、経済的な理由で修学が困難な方に、その学費の一部を無利子でお貸しする「奨学金制度」を設けています。

受付期間：3月1日(金)～3月29日(金) ※土日、祝祭日を除く

### ■募集人数と奨学貸与額

学校等	募集人数	貸与月額
大学・短大	15名以内	40,000円以内
高等専門学校		40,000円以内
2年以上の専修学校及び各種学校(予備校は除く)		40,000円以内
高等学校		20,000円以内

※奨学金は本人に対し4月、7月、10月、1月の四半期ごとに貸与します。

### ■申請手続きに必要な書類

- ・住民票
  - ・奨学金貸与申請書(教育委員会所定のもの)
  - ・学校長の推薦書(教育委員会所定のもの)
  - ・家庭状況書(教育委員会所定のもの)
  - ・学業成績証明書(学校所定のもの)
  - ・合格通知書の写し
  - ・専修学校及び各種学校のパンフレット※1
- ※1 大学・短大・高等専門学校・高等学校の方は必要ありません。

資料請求先 八峰町教育委員会 学校教育課(ファガス) ☎77-2816  
八峰町公民館(峰栄館) ☎76-2323

# CSレター

コミュニティ・スクールからこんにちは



CSディレクターの工藤です。  
1月9日「小・中学生による除雪ボランティア」で雪と格闘している子どもたちを見かけました。やはり子どもは外での活動が似合いますね。

1月16日に開催した第2回熟議では、約30名が参加して『地域でできる活動とは』をテーマに話し合いを行いました。

少子化や学校統合などで子どもたちを見かける機会が減り少なくなり、また、見かけても気軽にふれあうことが難しい時代になっているため、地域の人たちと子どもたちがふれあえる場を創出していくことに多くの意見が出されました。例えば、「郷土の昔話」「戦争の話」「案山子づくり」などの地域を学ぶ講座や、「みこしの滝浴び」「石川地区郷土芸能」「鹿島祭り」などの郷土行事へ子どもたちを取り込んでいく工夫などです。このほか、「町の365日歳時記づくり」「こどもみこしの復活」「川で魚取りを楽しむイベント」等の開催、さらには「大人も加わった少年警火団で定期的な活動を」等も提案されました。

学校側からは、地域に通学途中の子どもたちを見

てくれる「見守り隊」がいれば助かるなどの声が寄せられました。

さてさて、問題は地域で「だれがそれをやるか」「だれがやってくれるか」です。『絵に描いたモチ』ではなく、『食べられるモチ』になるように、もう少し知恵を出しあっていきたいと思っています。



第2回熟議の様子

## 要予約 【忌明け・回忌法要】

ご家族や少人数での法要は

# 鮭待夢の会席すし折詰め

5,000円から配達します  
オードブル・お刺身も承ります



お寿司の宅配と  
お持ち帰り  
すしたいむ  
鮭待夢  
SUSHI TIME  
能代店  
能代市南陽崎31-20  
TEL.0185-  
55-3277